

平成 29 年度 長崎市自然環境調査報告書：哺乳類・爬虫類・両生類

長崎市自然環境調査委員 松尾 公則

1. 相川湿地（12・1・2・3 月）での野外観察会

年間を通して湿地の整備や観察を実施しました。目撃される種は下記の通りで例年通りでした。

- [両生類] アカハライモリ、カスミサンショウウオ
ニホンヒキガエル、ニホンアマガエル、ツチガエル、ヌマガエル
ニホンアカガエル、シュレーゲルアオガエル
- [爬虫類] ニホントカゲ、ニホンカナヘビ
シマヘビ、アオダイショウ、ヤマカガシ、ニホンマムシ
- [哺乳類] イノシシ、ノウサギ、イタチ属の一種、テン、カヤネズミ、
コウベモグ

《野外実習》

今年度も下記の 5 団体で野外実習を実施しました。

- 2/3 長崎大学教育学部 3 年生中理 学生 7 名、教員 1 名
全員が 12 月の湿地整備ボランティアに参加し、両生類の産卵場を作るために終日頑張ってくれました。その際に自分の掘った場所にニホンアカガエルが産卵しており感動していました。
- 2/10 共育コミュニティー 森のわ スタッフ 8 名 参加者 5 家族 14 名
小雨の中で決行しました。ニホンアカガエルの卵塊や成体に触れ、幼生を少しずつ持ち帰り、自宅で飼育を試みたいとのことでした。
- 2/12 長崎北高 3 年農学部・環境科学部受験者 生徒 7 名 引率教員 2 名
農学部や環境科学部受験予定の学生を相手に観察会を実施しました。事前に学校でスライドを使用して解説を行い、その後に実習を行いました。面接や小論文の参考になったようです。
- 2/14 青雲学園高等学校 2 年生物選択者 生徒 78 名 引率教員 3 名
78 名の生徒が積極的に参加し、湿地内での観察を楽しんでいました。このような湿地を観察することが初めての生徒ばかりで、裸足で泥の感触を満喫する生徒も多く見られました。

2/16 時津幼稚園年長組 園児 39 名 引率教員 8 名

相川自治会 5 名 長崎ケーブルメディア 3 名

前日にカエルの授業を行い、相川湿地については説明済みです。多くの園児がカエルやサンショウウオの卵塊や成体の感触を楽しんでいました。実習の様子は長崎ケーブルメディアが取材し、21 日に放映されました。

※今年度も 12 月にボランティアによる湿地整備を行いました。

12/3 9:00～12:00 ボランティア 2 名

相川自治会 5 名

12/16 10:00～15:00 長崎大学教育理科 3 年生 4 名

長崎共育もりの和 16 名

時津幼稚園職員 8 名

長崎北高高職員 1 名

長崎大学水産学部 3 名

相川自治会 8 名

長崎市職員 1 名

※松尾単独の整備：10 月から 2 月にかけて 5 回

※夜間救出作戦・・・馬乗川から水田に入れないカエルの救出を実施しました。

1/8(月) 19:00～22:30 カスミサンショウウオ 3 頭

ニホンアカガエル 4 頭

1/16(火) 19:00～21:00 カスミサンショウウオ 1 頭

ニホンアカガエル 3 頭

☆ ニホンアカガエル卵塊数

1/8 34 卵塊

1/9 86 卵塊

1/17 189 卵塊

1/22 243 卵塊

2/3 の観察会開始時点では、寒波の影響で 1/22 とほとんど変わらない産卵状況でした。その後は、数個ずつ新しい卵塊が見られましたが、全体としては 300 個弱でした。

例年、1000 卵塊の産卵が見られますが、今年は非常に少なく 3 割程度でした。湿地環境の悪化に伴い、変態できるカエルが激減していることが大きな要因と思われます。

野外観察会のようす

平成 30 年 2 月 10 日 共育コミュニティー森のわ



ニホンアカガエルやカスミサンショウウオについて解説し、卵塊を紹介しているようす。



親子でニホンアカガエルの卵塊を触り喜んでいるようす。

平成 30 年 2 月 14 日 青雲学園高等学校 2 年生生物選択者



持参したニホンアカガエルやカスミサンショウウオの成体を観察しているようす。



ニホンアカガエルの卵塊を観察しているようです。

平成 30 年 2 月 16 日 時津幼稚園年長組



時津幼稚園年長組 39 名
説明後、小グループでニホンアカガエルの卵塊を観察中。



湿地全体を引率の先生と一緒に観察中。

2. 相川湿地以外の等差結果

1. 県民の森周辺の調査（4月）

両生類：シュレーゲルアオガエル ニホンアマガエル

爬虫類：ニホンカナヘビ シマヘビ

哺乳類：イノシシ テン イタチ属の一種 コウベモグラ

2. 英彦山付近（5月）

両生類：シュレーゲルアオガエル ツチガエル ニホンアマガエル

爬虫類：ニホンカナヘビ シマヘビ

哺乳類：イノシシ テン イタチ属の一種 コウベモグラ

3. 平間町・松原町調査（6月）

両生類：アカハライモリ ヌマガエル ニホンアマガエル

爬虫類：ニホンカナヘビ ニホントカゲ ニホンヤモリ アオダイショウ
ヤマカガシ

哺乳類：イノシシ テン イタチ属の一種 コウベモグラ

4. 野島・黒島調査（7月）

ヤモリ調査：ヤクヤモリが多数生息することを確認しました。

野島：ヤクヤモリ 幼体3 成体雌12 成体雄9 卵塊4ヶ所

黒島：ヤクヤモリ 成体雌1 卵塊2ヶ所

5. 相川湿地・永田湿地（8月）

相川湿地

両生類：何も発見できませんでした。

爬虫類：ニホンカナヘビ、ヤマカガシ

永田湿地

両生類：アカハライモリ ウシガエル

爬虫類：クサガメ ミシシippアカミミガメ ニホンカナヘビ

6. 外海神ノ浦川周辺（9月）

両生類：アカハライモリ ニホンアマガエル

爬虫類：ニホンカナヘビ、ニホントカゲ、シマヘビ ジムグリ
ヤモリ属の一種（卵塊）

哺乳類：テン、イタチ属の一種、アナグマ、イノシシ コウベモグラ

7. 外海海岸の岩場（10月）

ヤモリ調査を実施しました。

爬虫類：ニホンヤモリ、ニシヤモリ

8. 琴海町尾戸半島調査（11月）

哺乳類：イノシシ イタチ属の一種 コウベモグラ テン

9. 相川湿地継続調査（12・1・2・3月）